



建物概要	
所在地	山梨県南巨摩郡富士川町
建物用途	庁舎（事務所）
新築/既存	新築
建物構造	地上3階地下1階 プレストレスト鉄筋コンクリート造
延床面積	4,920m ²
竣工年月	2022年11月
LPガス設備	GHP

『ZEB』
Nearly ZEB
ZEB Ready
ZEB Oriented
エネルギー消費性能 BEI 0.38

ZEB化の取り組み

① 温室効果ガス削減

212.90t-CO₂/年（計算値）

② 快適性の向上

◆ 温熱環境の向上

外断熱工法やLow-Eペアガラスの採用により、温熱環境が快適に維持されている。

◆ 防音性の向上

気密性（外皮性能）の向上により、防音性能が向上している。

③ レジリエンス性能向上

災害時に備え非常用発電機を設置し、停電時には最低限の電力供給を行う。加えて設備機器の省エネ化、高効率化を行うことでこの負担を減らすことができ、他に電力を回すことが可能となった。

主な導入設備

外皮断熱	断熱材：発泡ポリスチレンフォーム 50mm床下、屋根、外壁 建具：Low-E複層ガラス窓 （アルミサッシ付き）
空調	GHP、地中熱利用システム
換気	全熱交換器
照明	光源：LED照明 制御：人感センサー/明るさ検知制御 タイムスケジュール制御
給湯	電気給湯器
再エネ	太陽光発電、リチウムイオン蓄電池
その他	BEMS、第2次トッランナー変圧器

主要ガス設備

◆ LPガス使用GHP活用の決め手

電力依存と消費エネルギーの低減を、平常時及び非常時の両面から検討し採用。

これは、消費エネルギーの低減、ランニングコストの抑制、災害対策の強化の3つの効果を期待したところであり、停電時リスク回避の観点からも、必要最低限の庁舎稼働を確保する目的から採用。



GHP 冷房467kW
暖房525kW
（室外機8台）
（室内機96台）